

はままつ 市議会だより

第206号

令和7年12月5日

身近な市議会を目指して



もくじ contents

○9月定例会のあらまし	P2
○可決した主な議案	P3
○決算審査特別委員会の状況	P4
○常任委員会の状況	P6
○代表質問	P7
○一般質問	P8

《地の祈り》1987(昭和62)年
浜松市秋野不矩美術館 寄託

所蔵品展 創造の眼IV～天眼～^{てんげん}より

市議会のくわしい情報、会議の映像は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



9月
定例会

6年度決算に対して6項目の指摘事項

医療提供体制の強化など総額22億円の補正予算を可決

9月定例会は、9月5日から10月22日までの48日間にわたって開催し、6年度決算や7年度一般会計補正予算、条例案のほか、意見書などの審議を行いました。

◎議案上程

9月5日の本会議では、7年度一般会計補正予算、6年度企業会計決算など、33件の市長提出議案を上程し、所管の各常任委員会に審査の付託をしました。続いて請願1件を上程し、紹介議員の趣旨説明の後、所管の常任委員会に審査の付託をしました。



本会議での決算審査特別委員長報告

◎補正予算などを可決、決算上程

9月12日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、1議員から一般会計補正予算など6件に対する反対討論があり、採決した結果、市長提出議案33件は原案のとおり可決・認定しました。また、6年度一般・特別会計決算12件を追加上程し、決算審査特別委員会に審査の付託をしました。

◎代表・一般質問に7議員

9月24日の本会議では、3会派の代表議員が代表質問を、9月25日の本会議では4人の議員が一般質問を行い、市政の諸課題について市の考え方をただしました。

◎6年度決算を認定、意見書を可決

10月22日の本会議では、決算審査特別委員長から審査の経過と結果及び決算に対する指摘事項（詳細は5ページのとおり）が報告されました。そして、1議員から6年度一般会計決算など4件に対する反対討論があり、採決した結果、決算12件をいずれも認定しました。また、議会提出議案として意見書6件を可決しました。

可決した意見書

意見書とは、国や県等が実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆ニホンカモシカの適切な保護管理の推進等に関する意見書
- ◆水道管路緊急改善事業の補助要件撤廃と地方公営企業繰出金における水道管路耐震化事業の事業費拡充を求める意見書
- ◆地方創生の観点に立った自動車税制の抜本見直しを求める意見書
- ◆地方消費者行政に対する恒久的な財源確保等を求める意見書
- ◆下水道管の老朽化に対するさらなる財政支援等を求める意見書
- ◆給付金事業等の効率的運用を求める意見書

30日 (第1分科会)	29日 (第2分科会)	25日 決算審査特別委員会	24日 本会議（一般質問）	22日 本会議（代表質問）	18日 議会運営委員会	12日 決算審査特別委員会 (全体会)	11日 大型公共施設建設 特別委員会	8日 議会運営委員会 各常任委員会 会開会・議案上程	1日 本会議（9月定例会開会・議案上程）	地方創生特別委員会	29日 議会運営委員会	20日 各常任委員会	8日 特別委員会 大都市制度・行財政改革	8月
----------------	----------------	------------------	------------------	------------------	----------------	---------------------------	--------------------------	-------------------------------------	-------------------------	-----------	----------------	---------------	----------------------------	----

議会活動の経過

可決した主な議案

7年度一般会計補正予算 総額19億3300万円

◆救急医療のひっ迫に対応するため、二次救急医療機関（7病院）の当番日における受け入れ病床数と、年末年始期間における発熱外来を増やすほか、新型コロナワクチンの自己負担額を引き下げます。

3億6395万円

◆中小企業の持続的な成長を後押しするため、経営基盤・競争力強化支援パッケージとして各種支援を行います。

1億1273万円

◆児童扶養手当を受給しているひとり親世帯などに対して、令和7年12月に、生活支援のための支援金を支給します。

9432万円

◆弁天島サイクルゲートの開設を契機とし、市内サイクルピットを活用した市内周遊観光キャンペーンを実施します。

605万円



弁天島サイクルゲート

◆浜松城公園の魅力向上を目的として、公園内の桜再生のため、樹木の健全度や土壤調査、更新用若木の育成などを行います。

515万円



樹勢が衰えた桜

◆子育て世代に選ばれるまちを目指し、企業や職場における課題などについて共通理解を深めるため、令和8年2月に、こども子育てフォーラムを開催します。

509万円

◆浜松駅バスターミナルにおける雨天時の環境を改善するため、屋根増設の設計を行います。

499万円

◆地域外から県立浜松湖北高等学校佐久間分校に入学する生徒への支援として、下宿先や、生活に必要な家具・家電を確保します。

238万円

災害用簡易ベッドの購入

●物品購入契約締結

大規模災害時における避難所の環境改善を図るため、災害用簡易ベッドを3890台購入し、各避難所に配備します。



災害用簡易ベッド(イメージ図)

4 日	3 日	12 月	28 日	27 日	20 日	13 日	10 日	11 月	22 日	21 日	17 日	9 日	3 日	2 日	1 日	10 月
本会議(代表質問)	議会運営委員会		告・質疑・採決	本会議(委員長報)	議会運営委員会	各常任委員会	会開会・議案上程	本会議(11月定期)	議会運営委員会	各常任委員会(全体会)	議会運営委員会	地方創生特別委員会(第1分科会)	決算審査特別委員会(第2分科会)	決算審査特別委員会(第1分科会)	決算審査特別委員会(第2分科会)	決算審査特別委員会

決算審査

6年度決算について、決算審査特別委員会を設置して、2つの分科会で集中的に審査を行いました

第1分科会 総務委員会、建設消防委員会、市民文教委員会(市民部、区役所)の所管事項

◎決算審査特別委員会の状況

<p>● 公共施設老朽化と改善策について</p> <p>質疑 有形固定資産の減価償却率69・9%と老朽化が進んでいるが、状況分析と改善策は。</p> <p>答弁 有形固定資産の減価償却率の高さは、公共施設が多いことに加え、さらなる投資が必要であると分析しており、施設の規模適正化や統廃合により、施設数や延べ床面積を削減する方針である。</p> <p>● 地域公共交通共創推進事業について</p> <p>質疑 シンポジウムなどの開催による成果は。</p> <p>答弁 シンポジウムと勉強会には様々な分野・業界から延べ275人の参加があり、地域公共交通に関する法令や制度の理解を深めるとした地域課題解決事</p>	<p>ともに、多様な観点から交通を考えるきっかけとなつた。その後、浜名区では、勉強会の参加者が地域住民を対象に移動手段を考え、会を企画するなど、事業の目的である人材育成は、一定程度達成できたと考えている。</p> <p>● 國際交流連携推進事業について</p> <p>質疑 海外派遣増加への対応は。</p> <p>答弁 庁内の国際戦略推進本部を通じて連携を強化し、課題や進捗を集約するほか、*UCLGなどの国際ネットワークを活用して効率的に海外都市との関係構築を進めている。</p> <p>● 協働センターなどを核とした地域課題解決事</p>	<p>業について</p> <p>質疑 事業の課題は。</p> <p>答弁 協働センターごとにばらつきが見られるため、コミュニケーション担当職員の資質向上を図る必要がある。なお、天竜区では過疎化や医療の確保など、本事業だけでは解決が難しい大きな課題が多い。</p> <p>● 地震対策推進事業について</p> <p>質疑 屋根の耐風改修事業の補修実績が17件であったことに対する評価は。</p> <p>答弁 木造耐震補強工事と併せた改修に対し、一件当たり約55万円を補助しているが、工事費の高騰により自己負担額が数百万円に及び状況もあり、想定より件数が伸びなかつた。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

第2分科会 厚生保健委員会、環境経済委員会、市民文教委員会(教育委員会)の所管事項

<p>● 子育て世帯訪問支援事業について</p> <p>質疑 ヤングケアラーのいる世帯へのヘルパー派遣の前年度比較や、ヤングケアラーの実情及びその対応は。</p> <p>答弁 ヘルパー派遣について、5年度と比較し、6年度は利用者が2人増加した。相談では、保護者の心身の疾患や障がいによることでもへの負担に関するものが多いため、ヘルパーだけでなく、高齢者、障がい者、児童福祉、教育、医療といった分野の関係者と連携し、府内や地域全体で支援ができるよう、取り組んでいる。</p> <p>● 地震対策推進事業について</p> <p>質疑 屋根の耐風改修事業の補修実績が17件であったことに対する評価は。</p> <p>答弁 木造耐震補強工事と併せた改修に対し、一件当たり約55万円を補助しているが、工事費の高騰により自己負担額が数百万円に及び状況もあり、想定より件数が伸びなかつた。</p> <p>● 動物愛護推進事業について</p> <p>質疑 動物愛護教育セ</p>	<p>ンターにおける猫の引取り状況と収容能力は。</p> <p>質疑 利用件数減少の要因や、魅力向上策の取組は。</p> <p>答弁 利用件数の減少は、コロナ禍で宿泊訓練が1泊2日に定着したことなどが影響した。6年度には、クラウドファンディングにより天体望遠鏡を修繕し、利用者の関心を高める取組を行つた。</p> <p>● かわな野外活動センターについて</p> <p>質疑 事業費減額の背景と、事業規模や成果への影響は。</p> <p>答弁 海外販路開拓の対象国選定の結果、減額となつたが、事業規模への影響はない。香港・台湾でのフェアでは約450万円の売上があり、現地事業者が販売の継続を希望しているほか、ウズベキスタンでは、プロモーションの取組が国営放送で放送されるなどの成果があつた。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



決算審査特別委員会(分科会)

決算審査特別委員会 指摘事項

今後の予算編成や執行に反映されるよう、市に対し議会として指摘した内容は次のとおりです。



築40年以上が経過した保健所(中央区鴨江二丁目)

●公共施設の老朽化対策と施設更新への計画的な投資戦略について

本庁舎などの計画的な修繕は評価できるが、公共施設全体の老朽化と減価償却率(69.9%)の高止まりが依然として課題である。加えて、災害リスクの高まりや今後の維持費・財政負担の増大が市民サービスに影響を及ぼすことが懸念される。

本市においては、これまで財政運営に支障を来すことなく、必要額を減債基金に積み立てることができておらず、1人当たり市債残高は目標額を上回って削減してきている。また、令和6年度は、前年度に続き実質公債費比率が改善するとともに、プライマリーバランスも黒字で推移している。このように健全財政を維持している現状を踏まえ、大型施設については修繕に加え、建て替えも含めた複数の選択肢を早期に検討し、戦略的かつ透明性の高いアセットマネジメントを推進すべきであったことを指摘する。

よって、市民の安全・安心に直結する公共施設の老朽化対策と施設更新への計画的投資を優先することにより、更新施設の先送りに伴う将来世代への財政負担を抑えつつ、持続可能な都市経営につながる明確な投資戦略を示すこと。

●中山間地域振興について

中山間地域の活性化に向け、市内間交流事業や居住促進事業、生活支援事業などに取り組んできたが、その成果は限定的である。市内間交流事業は一定の来場者数を得たものの、地域資源の魅力発信には十分にながっていない。生活支援事業における新たな仕事づくりも、リモートワークなど新たな仕事様式の研究や検討も行われず、具体的な事業化には至っていない。さらに、コミュニティビジネス起業資金貸付事業では、一定数の相談がある一方、事業化に至った例はなく、伴走支援が不十分であったことを指摘する。

よって、地域住民と同じ目線に立ち、現実に即した仕事創出の研究・検討を含め、魅力の発信や課題解決に取り組み、実効性ある事業化へと確実に結びつけること。

●保健所の新設整備計画の策定について

浜松市保健所は老朽化が顕著であり、近年修繕費が増加傾向にある。修繕中に与える利用者の不利益があること、南側の土地が土砂災害警戒区域であることなど、建物の老朽化による影響や危険性は大きく、令和6年度中に建て替えについて検討すべきであったことを指摘する。

よって、保健所の新設整備計画を早急に策定し、市民に新しい保健所の展望を明らかにすること。

●感震ブレーカー整備費助成事業と屋根の耐風改修事業の補助条件について

本市の感震ブレーカー整備費助成事業及び屋根の耐風改修事業は、いずれも木造住宅耐震補強助成事業と併せて整備または改修を行ったものを対象としている。しかし、国や静岡県の制度ではこのような補助条件は設けられておらず、本市の制度は相対的に条件が厳しいものとなっている。その結果、制度の利用が限定され、市民にとっては申請や活用のハードルが高くなり、地震や風水害への備えを十分に進められない恐れがあることを指摘する。

よって、より多くの市民が安心して利用できる制度設計とするため、補助条件を緩和するなど柔軟な運用を図ること。

●スクールソーシャルワーカーの待遇改善について

スクールソーシャルワーカー(SSW)は会計年度任用職員のため、フルタイム勤務職員に比べて報酬面での労働条件が劣る。また、勤続年数が2年以内のSSWが半数を占めていたことから、SSWとしての経験や知見が蓄積されない懸念があることを指摘する。

よって、SSWの入材確保のため、フルタイム勤務化や待遇改善を検討すること。

●学校給食室の空調・安全環境整備及び管理体制について

令和6年度の給食室の環境において、空調が整備されていないなどにより、国が定める学校給食衛生管理基準を満たしていない学校が101校、空調未整備の配膳室は386室であった。

給食調理員の労働環境整備及びこどもたちの食の安全管理に関して、空調機器の設置などによる適正な温度管理の対応を検討・整備すべきであったこと、また校長などによる管理体制の確立をすべきであったことを指摘する。

よって、学校給食衛生管理基準及び改正労働安全衛生規則に則った、給食室の空調・安全環境整備及び管理体制を早急に行うこと。

常任委員会の状況 9月8日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会



厚生保健委員会



環境経済委員会



建設消防委員会



市民文教委員会



長期保存が可能なアルファ化米

● 物品購入契約締結について

(非常用保存食 (アルファ化米))

質疑 アルファ化米は、従来と異なるタイプのものか。

答弁 今回購入するものは、1箱50食から個食包装のタイプに変更するものである。

(質疑) 購入する備蓄物資の保管場所は、どのように確保するのか。

答弁 学校の協力を得て保管場所を確保していくが、確保が難しいところは、既存の防災倉庫が更新を迎えるタイミングで倉庫を拡大したり、市施設を活用したりすることにより対応していく。

質疑 浜松医療センターの新病棟建設に伴う長期的な経常収支への影響は。

答弁 新病棟建設に加え、3号館の改修に伴う減価償却費の増大等により厳しい経営が見込まれるが、15年度からの経常黒字化を目指している。

● 幼稚園における特別支援教育体制モデル構築事業について

(当局説明) 研究実践園における発達支援教育の取組を検証し、支援体制や小学校への引継方法の検討を行う。

(質疑) 幼稚園から小学校への引継方法を検討する考えは。

答弁 現在は文書による個別支援計画を基に引継ぎを行っているが、本事業では、事例検討として幼稚園での実際の支援状況を小学校教員にも見えてもらい、小学校での支援に生かすことを想定している。

● 6年度浜松市病院事業会計決算について

(質疑) 浜松医療センターの新病棟建設に伴う長期的な経常収支への影響は。

答弁 新病棟建設に加え、3号館の改修に伴う減価償却費の増大等により厳しい経営が見込まれるが、15年度からの経常黒字化を目指している。

● 産業イノベーション推進事業について

(質疑) 市単独補助事業の執行状況は。

答弁 初予算において、新事業挑戦事業費補助金は3件分を新産業創出事業費補助金は11件分の予算を確保しているが、いずれも当初予算の上限に達したため、補正予算を計上するものである。

(質疑) 浜松・インド経済交流推進事業について

(質疑) 市内中小企業で構成するビジネスミッショングは。

答弁 インドセミナーや企業訪問を複数回実施する中で、インドへの事業展開を希望する地域企業が一定数あると確認できたこと、また、米国の関税政策によるリスクも顕在化する中で、ミッション団を派遣することで新たな交流の可能性を探るものである。

● 公園整備事業について

(質疑) 旧大河ドラマ館等の改修による今後の利活用方法は。

答弁 旧大河ドラマ館は屋内広場兼多目的スペースやイベント会場として、オフィス棟は事務所や貸会議室、授乳室として、ショップ棟は情報発信や休憩スペース、旧特産品販売所を活用したワークショップ開催スペースとして、そ

れぞれ利用することを想定している。なお、旧大河ドラマ館跡地を含め、浜松城公園は国の史跡指定を定された暫定的な利活用である。



改修を行う旧大河ドラマ館

● マイナンバーカード更新拠点拡充事業について

(質疑) 天竜区内の2郵便局を新たに更新拠点として委託するマイナンバーカードの電子証明書に関する業務の内容は。

答弁 券面変更を伴わないマイナンバーカードの電子証明書の更新・発行と、暗証番号の初期化の業務を委託する。

(質疑) 更新拠点の拡充に対する考え方。

答弁 9年度に電子証明書の更新ピークを迎えるため、状況を注視した上で、更新拠点の拡充を検討する。



新たに更新拠点となる郵便局

代表質問

9月24日には、会派を代表して3人の議員が質問を行いました



自由民主党浜松
加茂 俊武



中心市街地への投資で若者に選ばれるまちに

魅力ある中心市街地は若者に選ばれるまちの重要な要素の一つである。中心市街地活性化に向けたハード

整備に対する投資の考え方はあるか。

答弁 低未利用地の増加を課題の一つと捉え、7年度は不動産開発事業者等を対象とした投資可能性調査を実施するほか、都市機能誘導を図る制度の緩和や市街地再開発事業への支援制度の見直しなど、民間開発を促進する取組も検討している。

今後は、はまホール跡地の活用など公共投



さらなる活性化が求められる本市の中心市街地

資の検討を進めるとともに、商業施設やホテル、スマートオフィス等の整備を対象とした補助制度や融資制度を検討するなど、都市機能の立地誘導を図り、民間投資を促進することで、中心市街地の活性化につなげていく。

居心地の良い魅力ある動物園への取組を

質問 動物園を利用する高齢者や障がい者、子ども連れの方の回遊性をより高めるため、高低差を解消し、園内を楽しめる乗り物を導入できないか。

答弁 動物園では、8年4月から、高齢者や障がい者が利用できる1人乗りのハンドル型電動車いす5台の貸出しを開始する予定であり、隣接するフラワーパークと合わせて計12台で運用していく。また、動物園入口から入ってすぐに高低差約25メートルの上りとなることから、高低差に負



公明党
松下 正行



担を感じる多くの利用者の負担軽減となるよう、7人乗り園内カートの導入を8年度から運用に向けて検討している。今後も、利用者に居心地の良い動物園と感じてもらえるよう取り組んでいく。

質問 介護人材は今後さらに不足することが推計されているが、市が連携協定を結ぶ海外諸都市との外国人材の確保に向けた取組は。

答弁 平成30年度から外国人介護人材の確保に努めているが、足りていない状況が続いている。こうした中、令和6年10月にフィリピンのダバオ市やアクラン州と人材交流などを目的とした覚書を締結し、日本へ介護人材を輩出する職業訓練校への訪問と意見交換を行った。7年8月にはインドネシアのバンブン



電動車いす(左)と園内カート(右)の導入例

質問 外国人介護人材確保に向けたさらなる取組を

その他の質問 ① 優める子育て応援支援プログラム開発を ② こどもの権利救済機関の設置検討を ③ 本市でのラーケーション導入の考えは



創造浜松・国民民主党浜松
太田 利実保

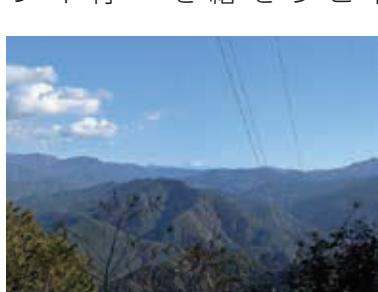


市と覚書を締結し、今後は介護事業での人材交流も含めた行動計画を策定予定である。海外諸都市との覚書や行動計画などに基づき外国人材を円滑に確保できるよう、国や県とも緊密に連携し、対策を推進していく。

その他の質問

① 産業人材育成の成果と今後の展開は

② 船明地区の浸水対策と今後の取組方針は ③ 中山間地域の地域づくりへの関わりは



秋葉山(天竜区春野町)から富士山を望む

一般質問

9月25日には、4人の議員が質問を行いました



齊藤 晴明
市民クラブ



街路樹や植栽に持続可能な管理計画を

質問 道路植栽の雑草繁茂による見通し悪化の改善や維持管理経費の削減のため、街路樹や植栽に関する10年間のロードマップ管理計画を策定すべきと考えるがどうか。

答弁 浜松市街路樹再整備方針に基づき、老朽木や支障木の廃止により道路利用者の安全確保に努めるとともに、都市部の街路樹は保全に向け定期的な剪定をしている。

樹形を保つ適切な樹木剪定や、近年の気候変動による除草回数の増加などについての意



雑草が繁茂する植栽（上）と剪定された植栽（下）

見があることから、街路樹と植栽の生育状況に関する基礎調査を2年程度で実施した後、整備方針の改定に向けた検討を1年程度で行い、ロードマップとなる具体的な短期目標を新たに盛り込んだ再整備方針に改定していく。



小黒 啓子
日本共産党浜松市議団



新野球場建設に係る市の費用負担は

質問 市民意見の一致をみない多目的ドーム型スタジアム建設への

市の費用負担は市民理解が得られないと考えるが、市長が以前から発言しているように、市は費用負担しないことに変わりはないか。

答弁 県が整備を検討

してある新野球場について、県は平成28年に遠州灘海浜公園基本構想を、令和6年には基本計画を策定している。7年には、県と市による遠州灘海浜公園篠原地区利活用推進協議会が開催され、7月から9月上旬に、民間投資



持続可能性が求められる公共交通

やコスト縮減策などを期待した民間提案の公募が実施された。新野球場の事業については、県の公園の中に県営野球場を建設する県の事業であり、現在において、県が整備することが基本と考えている。



中野 和幸
自由民主党浜松

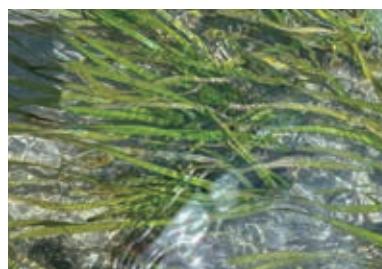


浜名湖の恵みを取り戻し次世代へ継承を

質問 アマモの再生など、カーボンニュートラル実現に向けたブルーカーボンの位置づけは。

答弁 カーボンニュートラル政策では、温室効果ガスの排出削減と二酸化炭素吸収源の確保を同時に進めている。

アマモの再生は、浜名湖の生態系の復活や漁業振興などに貢献することはもとより、アマモにより吸収・固定される二酸化炭素であるブルーカーボンが、地球温暖化対策にも貢献するものと認識している。



弁天島(中央区舞阪町)の沿岸で5年ぶりに育ったアマモ

他の質問

①水利組合へ多面的機能交付金の活用を
②スタートアップと地域企業の連携促進を
③防災拠点となる防災道の駅の検討状況は

本市では、改定を進めている地球温暖化対策実行計画において、二酸化炭素吸収源の確保の取組の一つにブルーカーボンを位置づけ、アマモなどの再生を漁協をはじめとした民間団体との連携により推進していく。

※防災道の駅：広域的な防災拠点機能を持つ道の駅のこと。災害時には自衛隊などの救援活動の拠点・緊急物資などの基地として役割を果たす。

防犯活動では、街中の特に同協議会が行う防犯活動では、街中の特に同協議会が行う

答弁
況は。

オラレ浜松の事務協力費の活用方法は



鳥井 德孝
自由民主党浜松



芝生化されたグラウンド(佐藤小学校)

質問 浜名湖ボートリース企業団のボートチケットショップ「オラレ浜松」からの事務協力費の交付額と活用状況は。

答弁 オラレ浜松の売上の1%が事務協力費として、市に3割、周辺自治会などで構成するNPO法人まちなか環境整備協議会に7割が交付され、6年度は約2500万円であった。これは、商工業振興施設整備基金へ積み立てるほか、防犯活動に活用されている。

パトロールの状況などを踏まえ、防犯カメラを計画的に設置しており、現在86台の防犯カメラが、有楽街の防犯センターで一元管理されている。このことにより、犯罪の未然防止だけでなく、事件の早期解決に寄与している。

その他の質問

①教職員の意見を反映した勤務環境改善を

②インドと産業連携に加え文化的な交流も

③学校グラウンドの暑さ対策に芝生化を

議員定数方針決定の報告を天竜区で行いました

市内で14回実施した、議員定数の削減方針に係る報告会での意見を踏まえ、より丁寧な説明を必要とする天竜区5地区を対象に報告会を実施しました。(8月20日~26日)

参加者からは、1票の較差だけではなく面積が広大であることも加味すべきであるという意見や、議会での新たな取組に寄せる期待の声、取組内容には実効性を求めるという要望などを多くいただきました。

市議会では貴重なご意見を真摯に受け止め、議員定数と新たな取組に関する議論を重ねています。



議員定数に関する
協議の経過はこちらから



春野地区での報告会

議場の見学をしてみませんか



議場見学の様子(可美小学校6年生)

議会事務局では、市政への関心を深めていただくため、学校などから本会議場や委員会室の見学を随时受け付けています。

※議会の予定などにより見学ができない場合がありますので、事前に調査法制課(053-457-2513)までお問い合わせください。



はまつ
市議会だより

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。
ぜひ御覧ください。



本作は1984(昭和59)年～1988(昭和63)年代に描かれた作品群の一つである。《七母神》や《三菩薩像》での群像の造形的な組立を継承し、《地の祈り》では「抜き差し」表現を随所に使って描いている。抜き差しとは、ネガの視点で対象の形態を捉える方法で、描く対象よりも周りの余白の形状を的確に捉えることで、人物や対象の存在感などを一層印象付ける描法である。これにより、画面全体に無駄のない心地よい緊張感が生まれ、着衣の優雅な表情や花の存在、女性たちのリズミカルな姿態が、生き生きとした律動感を醸し出すことに役立っている。これらの取組が翌年の《女人群像》により造形性を高めた表現につながっていったと考えられる。

余談ではあるが、作家は作品内に自己を投影せざることがある。本作右端の女性だけが他の女性の髪型や表情、骨格などの表現と少し異なっている。そこに作家自身の作品に込めた思いが投影されているように感じられる。



秋野不矩美術館ホームページ
所蔵品展 創造の眼IV～天眼～

11月22日(土)～2026年1月12日(月・祝) ※12月29日～1月3日は休館

開館時間：午前9時30分～午後5時 (入館は午後4時30分まで)

休館日：月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館)

紙上美術館
No.192

VEGETABLE
OIL INK

再生紙を使用しています



不要になれば、雑がみとしてリサイクル

17 16 10 9 8 5
日 日 日 日 日 日
12月

本会議(一般質問)
本会議(一般質問)
本会議(一般質問)
議会運営委員会
各常任委員会
本会議(採決：11月定
例会閉会

今後の議会活動の予定

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎ 053-457-2513